

# 床下収納庫 施工説明書

工事店様へ

製品を正しく据え付けていただくためにこの説明書をよくお読みください。  
施工説明書及び、取扱説明書は紛失や汚れのないよう保管し、工事終了後、必ずお客様へお渡しください。

## 必ずお守りください

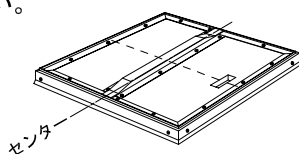
**絵表示について** この施工説明書では、製品を正しく据え付けしていただき、お客様への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

**注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び、物的損害の発生が想定されます。

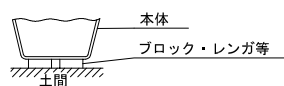
**!** この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

## 注意

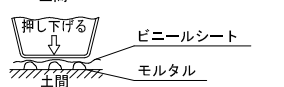
**!** 補強棧は必ずふた板の木目に直角に取り付けてください。また、ふた板に継ぎ目がある場合には木目の方向に関係なく継ぎ目に直角に補強棧を取り付けてください。ふた板の強度が不足しますと、開口部に転落してけがをするおそれがあります。



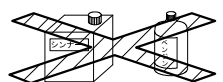
●ブロック、レンガ等で本体底部を受けてください。収納物の重量で本体が変形するおそれがあります。



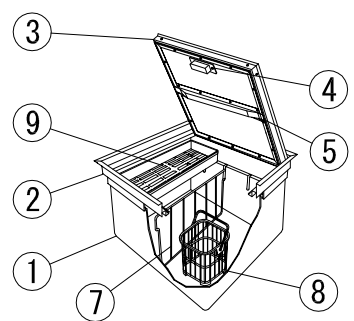
●モルタルで受ける場合は、ビニールシートなどを間に入れてください。



●本体は樹脂製ですので火気の使用や溶剤の使用に注意してください。



## 各部の名称



部品番号	部品名称	600型 補強棧1入	600型 補強棧2入	900型 補強棧2入	900型 補強棧4入	1200型 補強棧2入	1200型 補強棧4入
①	本体	1	1	1	1	2	2
②	アルミ枠 (外枠)	1	1	1	1	1	1
③	アルミ枠 (ふた枠)	1	1	2	2	2	2
④	回転取手・取手カバー	1	1	2	2	2	2
⑤	補強棧	1	2	2	4	2	4
⑥	中棧	-	-	1	1	-	-

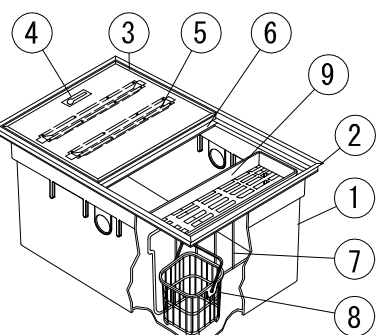
オプション部材

⑦ 仕切板	⑧ 網カゴ	⑨ 皿カゴ
-------	-------	-------

付属部品

	部品名称	600型 補強棧1入	600型 補強棧2入	900型 補強棧2入	900型 補強棧4入	1200型 補強棧2入	1200型 補強棧4入
袋1	回転取用手 皿小ねじ M4×16 [22]	2	2	4	4	4	4
袋2	外枠用 皿タッピングねじ 4×30	8	8	10	10	14	14
袋3	ふた枠用 皿小ねじ M3×4	2	2	4	4	4	4
袋4 ※1	補強棧用 皿タッピングねじ 4×12	8	16	16	32	16	32

※1 補強棧包装ポリ袋内に補強棧1本につき8本同梱されています。



上図：600型補強棧1入仕様、下図：900型補強棧4入仕様

(ふた板15mm厚、21mm厚 共通)

※ふた板の厚みが21mmの場合は本書にある[ ]内の内容をご参照願います。

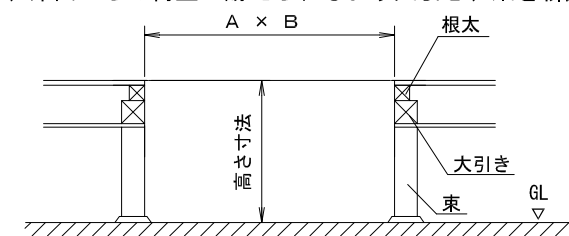
## 施工方法

1. 床に開口部を設け、開口部の周囲に根太を取り付けてください(開口寸法下表参照)。

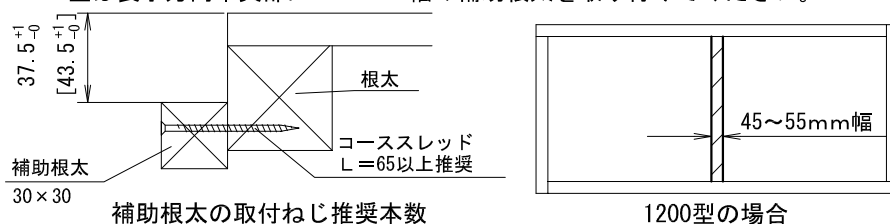
床開口寸法

機種	A	B
600型	606	606
900型	606	909
1200型	606	1205

2. 床面から土間までの高さは465[471]mm以上必要です。根太は、床面からの荷重に耐えられるよう大引き、束を新設してください。



3. 補助根太を床面から下図の位置に取り付けてください。1200型は長手方向中央部に45~55mm幅の補助根太を取り付けてください。

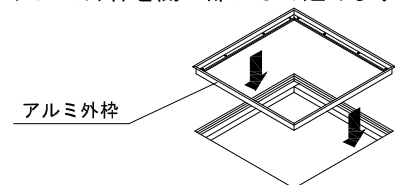


補助根太の取付ねじ推奨本数

開口	606	909	1205
推奨本数	4	6	8

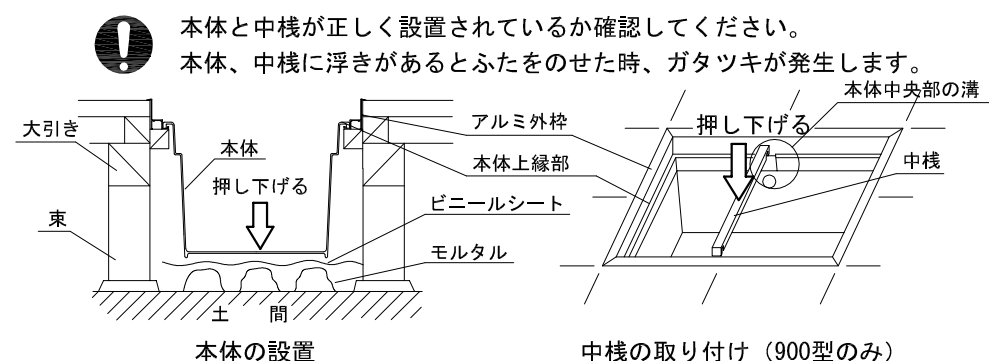
※ 補助根太は現地で調達してください。

4. アルミ外枠を開口部にはめ込みます。



**!** この時点では、まだアルミ外枠をビスで固定しないでください。

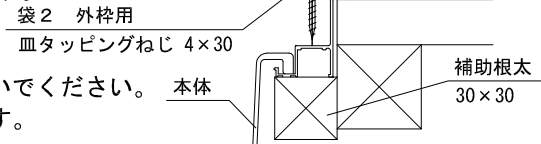
5. 本体上縁部をアルミ外枠に正しくのせてください。また本体設置の際はブロック、レンガなどで本体底部を受けてください。モルタルで受ける場合は、モルタルが底部に密着しないよう下図のように、ビニールシートなどを間に入れてください。900型の場合は、本体をアルミ枠に設置した後、本体中央部の溝に中棧を確実にめ込んでください。



**!** 本体と中棧が正しく設置されているか確認してください。本体、中棧に浮きがあるとふたをのせた時、ガタツキが発生します。

**!** 本体がアルミ外枠より浮き上がらない様に押し下げてください。

6. アルミ外枠を付属のビスで固定します。



**!** アルミ外枠のビスを締めすぎないでください。アルミ外枠破損の原因となります。

※単位：mm

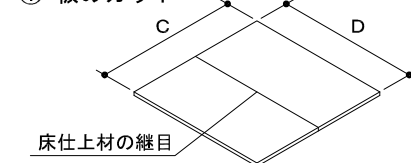
## ふたの組立

※ 900、1200型の場合は2枚作成してください。

1. ふた板(現場調達)を組み立てます。ふた板の組立は下図のような要領でおこなってください。ふた板の厚みは14.5[20.5]mm以上が必要です。12mmの床板の場合は、3[9]mmの厚み調整板(合板等|現場調達)を接着してください。接着剤は接着面全面に塗布して十分な強度を保つようにしてください。

**!** ふた板の厚みが不足していると不良の原因となりますので上記の厚みになるように必ずふた板の厚みを確保してください。

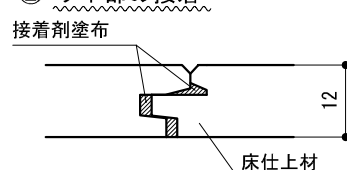
① 板のカット



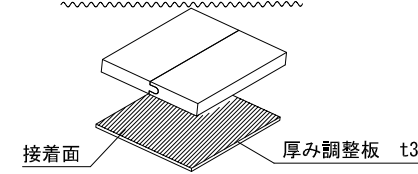
ふた板カット寸法 (mm)

機種	カット寸法		作成枚数
	C	D	
600型	587 <sup>+0</sup> <sub>-1</sub>	587 <sup>+0</sup> <sub>-1</sub>	1
900型	587 <sup>+0</sup> <sub>-1</sub>	439 <sup>+0</sup> <sub>-1</sub>	2
1200型	587 <sup>+0</sup> <sub>-1</sub>	587 <sup>+0</sup> <sub>-1</sub>	2

② サネ部の接着



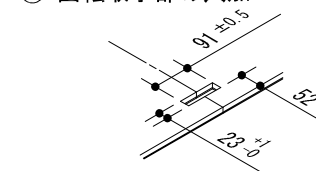
③ 厚み調整板の貼り付け



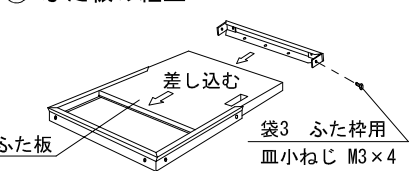
※ヘラ等で全面に均一に塗布する。

**!** フローリングのサネ部及び蓋板と厚み調整板の接着は確実に行って下さい。接着不良の場合、音鳴りの原因となります。

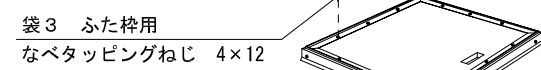
④ 回転取手部の穴加工



⑤ ふた板の組立



2. 枠組みが終わったら、ふた板裏面より12箇所ねじで固定してください。



3. 補強棧をふた裏面に取り付けます。

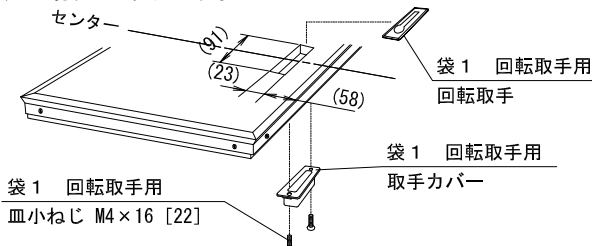
**!** ふた板に継ぎ目のある場合には、図のように継ぎ目に対して直角に補強棧を取り付けてください。



※ 取り付けピッチは、600、1200型の場合200mmに、900型の場合は150mmにします。

4. 最後に、回転取手をねじで固定します。

**!** 手回しドライバーで固定してください。電動ドライバーの場合、破損する場合があります。



## お願い

本施工説明書及び同梱の取扱説明書は、施主様にお渡しください。